レジリエンス HOKKAIDO ニュース

強く、しなやかな北海道を目指して！

vol.32
2025年3月

北海道

北海道は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

1. 北海道強靭化計画(第3期)※について

このニュースでも何度かご紹介しましたが、有識者懇談会での議論や市町村の皆様からのご意見などを踏まえて策定作業を進めてきた次期北海道強靭化計画について、3月28日に開催された北海道強靭化推進本部員会議で決定しました。 ※H27.3に策定し、5年ごとに見直し(今回3期目)

＜計画(第3期)のポイント＞

能登半島地震の知見など社会情勢の変化、国の計画の見直し、有識者の意見等を踏まえて、施策の方向性として次の項目を新たに記載。

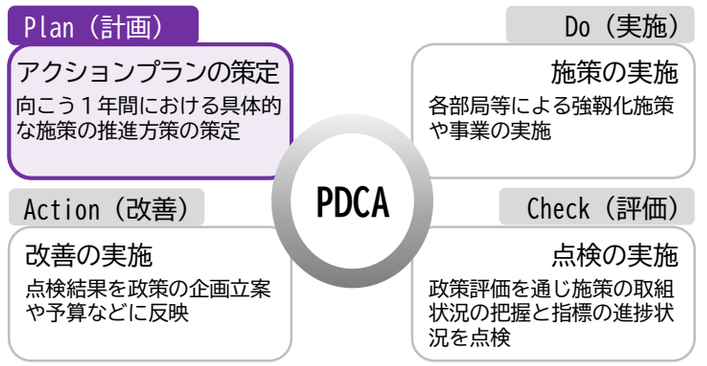
〔現状と評価〕	〔課　題〕
これまでの取組 ・落石対策や橋梁の耐震化などの計画的な実施 ・道管理河川の水害対応タイムライン策定完了 ・全市町村の洪水ハザードマップ策定完了	➢ ハード整備の一層の推進 ➢ 避難者への対応などソフト対策の充実 ➢ 情報収集等の迅速化のための先端技術の導入 ➢ 地域の防災力の強化 ➢ 災害関連死の発生 ➢ 多数の孤立地域の同時発生 ➢ 自然災害と感染症の同時発生
本道の地域特性 ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震のリスク ・積雪寒冷地特有の災害リスク	
社会情勢の変化 ・能登半島地震の知見 ・頻発化・激甚化する自然災害リスク ・国の基本計画の見直し(災害関連死防止など)	

【施策の方向性】

視点1　近年の災害からの知見の反映	
方針	・切迫する海溝型地震や災害の激甚化を踏まえ、ハード整備のより一層の推進 ・災害関連死等の防止、避難者への対応、感染症対策、孤立地域対策等ソフト対策の充実
視点2　新たな技術の活用による施策の高度化	
方針	・情報収集等の迅速化のための先端技術の導入によるDX・GXの推進
視点3　計画の実効性を高めるための取組	
方針	・施策分野に「地域における防災力の一層の強化」を追加 ・5か年加速化対策後も強靭化施策を着実に推進

2. 北海道強靭化アクションプラン2025について

北海道強靭化計画の推進にあたり、分野ごとに、各施策の進捗状況等を踏まえて点検を実施し、更なる施策推進につなげるPDCAサイクルを効果的に機能させるため、向こう1年間の具体的な施策の推進方策を示すものとして、毎年度策定。



＜①～④の分野ごとの令和7年度の主な推進方策＞

① 自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服
津波避難体制の整備、上下水道施設の防災対策　など

② 国全体の強靭化に貢献するバックアップ機能の発揮
リスク分散を重視した企業立地等の促進、食料生産基盤の整備　など

③ 地域における防災力の一層の強化
避難所の生活環境の改善・健康への配慮、非常用物資の備蓄促進 など

④ 北海道の強靭化、全国の強靭化を支える交通ネットワークの整備及びデジタル等新技術の活用
緊急輸送道路の整備、除雪体制の確保、関係機関の情報共有　など

3. 地域計画の内容充実に向けサポートします！

計画推進課では、市町村の皆様からの強靭化に係るご質問やご相談などを随時受け付けております。

Zoom、メール、電話等による打合せも可能ですので、計画改定などについてご相談等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

北海道強靭化計画
ホームページ

北海道 総合政策部 計画局 計画推進課
TEL：011-204-5647

レジリエンスHOKKAIDOニュースは本文に見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。